

平成30年度 基本事業評価シート (平成29年度実績評価)

政策 02 健やかに暮らせるまち

施策 04 健康づくりの推進

基本事業 03 食育の推進

主管課： 保健センター

関係課： 指導室、児童福祉課、学校教育課

1 基本事業の目的

対象 (誰, 何を対象としているか) 市民	意図 (どのような状態にしたいのか) 市民が, 食に関する正しい知識を身に付け, 食事や栄養に気を付けることができるようにする。
--------------------------	---

2 基本事業の成果状況 (意図の達成度を図る成果指標とその動向)

主食, 主菜, 副菜のそろった食事をとる市民の割合 (%) 保健センター					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
56.20	52.70	49.70	53.00	56.00	60.00
向上指針	上がると良い	(状況) 主食・主菜・副菜のそろった食事を取っている市民の割合は, 昨年度と比較して3ポイントの減少となりました。 (原因) 10歳代と20歳代が前年に比べて低下していました。また, 10歳代から30歳代までが, 40%以下で「主食・主菜・副菜のそろった食事を取っていない」状況でした。今後も, 第2次食育推進計画に基づき各世代への周知を行っていく必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

塩分を控えている市民の割合 (%) 保健センター					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
37.20	38.30	36.70	38.00	39.00	40.00
向上指針	上がると良い	(状況) 塩分を控えている市民の割合は, 昨年度と比較して1.6ポイント減少しました。 (原因) 60歳以上は, 塩分を控えている割合が57%と高いが, 20歳代から50歳代については, 23%から30%と低い状況であり, 各世代へ減塩の必要性を周知する必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

朝食を食べている児童生徒の割合 (%) 指導室					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
97.90	95.70	96.50	97.00	97.50	98.00
向上指針	上がると良い	(状況) 児童生徒の朝食を取る割合は, 昨年度比で0.8%増加しているものの, 基準値には1.4%足りず, 目標値達成には満たない状況です。 (原因) 食育推進計画策定後の平成25年度以降, 朝食摂取の割合は, ほぼ横ばい状況です。市内の全小中学校においては, 守谷市保幼小中高一貫教育「学びのプラン」の生活スキルとして, 「早寝・早起き・朝ご飯」の指導を徹底していくよう訪問の際に各校に呼びかけています。特に, 例年受験を控えた中学3年生の数値が低いので, 学力の向上と朝食の関係を丁寧に今後も指導を継続していく必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

